

## 第 39 回共同連全国大会 IN 大阪 趣意書

共同連は、1981 年の準備会を経て、1984 年大阪にて結成されました。以来、全国大会も回を重ねて参りました。2020 年より、コロナ禍のため 2 年間の大会の休止と、その後 1 日開催での再開を経て、本年は 5 年ぶりに 2 日間での大会を開催する運びとなりました。

大阪での共同連大会は、2016 年に開催した第 33 回大会から 8 年ぶりとなります。前回の大阪大会では「めっちゃごちゃまぜ ええやんか！～ひとりひとりの人生ちゃう？みんなで支え合おうや～」をテーマに掲げ、互いにつながり支え合うことで、様々な差別事件に抗い、「一人ひとりが大切にされ、共に生き、共に働く」とは何かを全国の仲間と考え議論する時間を持つことができました。

あれから 8 年、全国の仲間との繋がりを大切にしながら、各々の現場で「共に働き、共に生きる」社会の実現に向け、歩みを進めてきました。2022 年 10 月には労働者協同組合法が施行され、共同連がめざす社会的協同組合への展開として「共に働く」素地の広がりへの期待もふくらみました。

しかし、以前から問題となっていた悪しき A 型事業所は、国の制度改正の後、閉所したところもありましたが、いまだ根強く存在し、また障害者雇用率ビジネスなどに代表されるように、「障害者の働く」、がビジネスの商材として国や自治体を含め、新興産業のひとつとして大々的に進められている状況に陥っています。私たち自身も制度や社会情勢の波に翻弄され、本来めざしてきた「共に働く」在り方を見失うことがないように、この状況に向き合っていかなければならないと考えています。

こういった現状を踏まえ、本大会では「切らへん、分けへん、共に働くってええやん！？～一人一人の「暮らし」と「働く」が金儲けのネタになっている、どないしよう？の話～」をテーマとし、今一度、私たち自身が原点に立ち返り、「共に働く」を問い直し、そしてこれからをいかに切り拓くかを全国の仲間と語り合い、盛り上げていきたいと思えます。

今大会では、「共に働く」は今どう歪められているのか？を知り、また様々な現場における「共に」の実践を学び、私たちが「めっちゃ、ええやん！！」と思いつく社会はどんなことかを語り合い、これからの希望が持てるプログラムを企画、準備を進めています！

また、この年明けに発生した能登半島地震では、いまなお多くの方々が大変な状況にあります。今大会では、被災地の現状の報告や、「共に生きる社会」の中で今後どのような視点で災害に向き合うべきかを考える会を大会終了後も継続して企画していきます。

この社会に「共に生きる」が根付き、あらゆる立場にある仲間たちと「めっちゃええやん！」を分かち合える 2 日間となるよう、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

2024 年 6 月吉日

第 39 回共同連全国大会 IN 大阪 実行委員長 井上康